

機械器具 5 1 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 間欠泌尿器用カテーテル 36125000

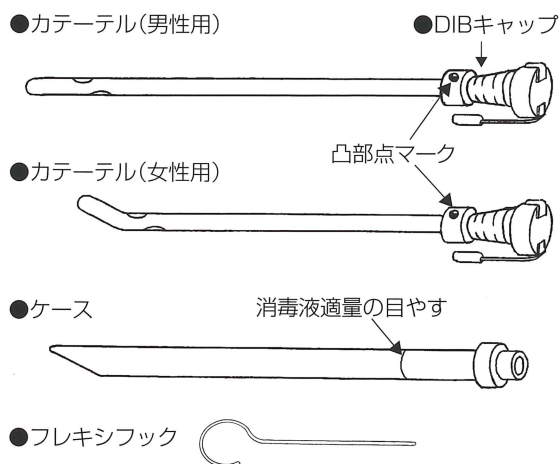
D I B マイセルフカテーテル セミハード

【禁忌・禁止】

- ・未消毒品につき、直ちにご使用できませんので、消毒後にお使いください。
- ・DIBキャップを接続し、留置した状態では MRI 検査は行わないでください。

【形状、構造及び原理等】

<各部の名称>



<材料>

- ・カテーテルチューブ：外チューブ・シリコンゴム
：内チューブ・ポリフルオロエチレン
- ・コネクター：シリコンゴム
- ・ケース：塩化ビニル（可塑性剤：フタル酸ジエチルヘキシル）
を使用してあります。
- ・DIBキャップ：着色ポリプロピレン、銅板、磁石、
エポキシ樹脂塗料
- ・フレキシフック被覆材：塩化ビニル

* <性状> 代表例（男性用）

サイズ	外 径	全 長
12 Fr	4.0 mm	333 mm
14 Fr	4.7 mm	
16 Fr	5.3 mm	

<作動原理>

カテーテルを尿道経路にて膀胱に挿入して導尿する。
尿はカテーテルの内腔を通り、DIBキャップのフタを開けて排出する。

【使用目的、効能又は効果】

排尿障害の尿路管理として尿道経路にて膀胱に挿入したうえで、間欠的導尿をする自己導尿用カテーテルとして用いる。

【品目仕様等】

JIS T 3214（膀胱留置用カテーテル）による。

【操作方法又は使用方法等】

— 使用前の準備 —

1. 病院より出された消毒液をケースに入れ、その中にカテーテルを差し込み、消毒をしておきます。（差し込み後 DIBキャップのフタを一度開き、カテーテルの内側に消毒液が上がってくるのを確認してから閉じてください。）
2. ケースよりカテーテルを取りだし、フレキシフックを使用して引っかけておろします。
（本書の裏面の“■お取り扱い”の“●ケース”をご確認ください。）
3. 手指は洗浄または消毒綿で良く拭きます。

— 男性用使用時 —

1. ペニスを体に対して直角になるように保持し尿道口からラセンを描くように龟头を外側に向かって消毒をします。
2. DIBキャップの付いたカテーテルを消毒液が入ったケースから取り出し、カテーテルの先端部分にゼリーをつけます。
3. 清潔な利き手でカテーテルを鉛筆を握るように持ちます。
4. 反対側の手でペニスを固定して、カテーテルを静かに 16cm～20cm ほど挿入します。そのときに無理な挿入は行わないこと。

— 女性用使用時 —

1. 小陰唇を広げ、尿道口から下向きに消毒をします。
2. DIBキャップの付いたカテーテルを消毒液が入ったケースから取り出し、カテーテルの先端部分にゼリーをつけます。
3. 清潔な利き手でカテーテルを鉛筆を握るように持ちます。
4. 反対側の手で小陰唇を開き、カテーテルを静かに 4cm～6cm ほど挿入します。そのときに無理な挿入は行わないこと。

— 排尿・抜去時 —

1. 挿入後 DIBキャップのフタを開けて排尿をします。
2. 片方の手で下腹部を圧迫して最後まで尿を排出します。
3. 排尿後 DIBキャップのフタを閉めてゆるやかにカテーテルを抜きます。
4. 使用後は DIBキャップのフタを開けて、水道水でカテーテルの内外を洗い流し、消毒液の入ったケースにしっかりと差し込み、最後に DIBキャップのフタを閉じます。

<消毒について>

本品は未消毒につき、ケースに消毒液又は潤滑剤を添加した消毒液を入れ、この中にカテーテルを収納し、常時消毒しておく（消毒液の一例としてはオスバン液、ハイアミン液、カテーテル挿入時に滑りをよくするための潤滑剤の一例としては滅菌グリセリンがありますが、何れも医師の処方によります）。

<使用方法に関する使用上の注意>

- ・使用前に手指、尿道口を消毒すること。
- ・本品を挿入するときにシャフトの先端部付近を持たないこと。
- ・膀胱痛・尿道痛・尿の混濁・血液の混ざり等があった場合は必ず医師に報告し、その指示に従うこと。
- ・カテーテルの留置・抜去の確認をきちんと行い、又、無理な挿入及び抜去は行わないこと。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- ・本品は自己導尿用として使用するが使用前に医師の指導を必ず受け、医師の指示に常に従って使用すること。
- ・本品は未消毒です。初回は医師の処方による消毒液をケースに入れ、シャフト部分を消毒液で消毒してから、必ずご使用ください。また、使用時以外はシャフト部分を消毒液の入ったケースに収納し、常時消毒しておくこと。
- ・消毒液及び本品は、医師の指示により交換すること。
- ・使用後は必ず、本品を水洗いした上で、消毒液入りケースに戻すこと。
- ・本品を勝手に改造しないこと。又、刃物などによる傷をつけないこと。
- ・使用方法や本品に対して疑問がある場合には、必ず医師に相談すること。
- ・DIBキャップの開閉部が不潔になった場合、あるいは白い結晶のようなものが付着した場合は消毒綿等で拭いてください。(1日1回程度)
- ・付属品のDIBキャップのフタを閉めた後に、必ずフタを押して漏れの無いことをご確認ください。
(本書の「■お取扱い」の「●DIBキャップ」をご確認ください)。
- ・DIBキャップには磁石を使用していますので、他の医療機器、時計、磁気カード等、磁気の影響を受けるものには、近づけないこと。
- ・DIBキャップは磁石及び金属板を使用していますのでMRIでの使用は禁止です。
- ・クロルヘキシジン、ヨウ素及び次亜塩素酸ナトリウム系の消毒液は使用しないこと。(例：ヒビテン・イソジン・ハイポライト等)

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

<貯蔵・保管方法>

- ・高温多湿、直射日光、塵埃をさけた清潔な場所で保管すること。
- ・使用後は消毒液の入ったケースにカテーテルを収納して保管すること。

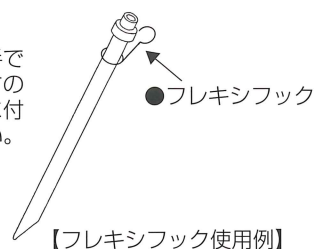
<使用期間>

- * ・消毒液は1日に1回交換する。
- ・カテーテルは4週間ごとに交換する(カテーテル及びケースが汚染、破損した場合には、医師の指示に基づいて交換すること)。

【包装】 1本/袋(5袋/箱)

■お取扱い

- ケース
フレキシフックは手で簡単に曲げられますので、本体ケース等に付けてご使用ください。



- DIBキャップ
フタを押して漏れないことをご確認ください。



製品に対するご意見、ご感想がありましたら、ご連絡ください。

【製造販売業者及び製造業者の名称及び住所等】

<製造販売元>

株式会社 塚田メディカル・リサーチ

住 所：長野県上田市真田町本原1931-1

〒386-2202

TEL: 0268-72-5370

FAX: 0268-72-9755

<製造元>

株式会社 塚田メディカル・リサーチ

<発売元・連絡先>

株式会社 ディヴィンターナショナル

** 住 所：東京都文京区小石川1-4-1

住友不動産後楽園ビル

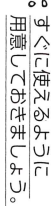
〒112-0002

TEL: 03-5684-5684

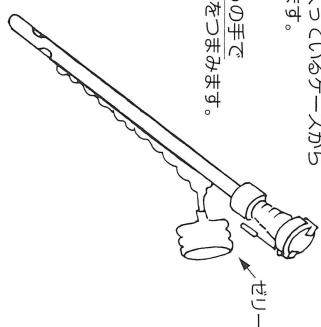
FAX: 03-5684-5686

<http://www.dib-cs.co.jp>

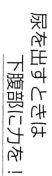
1 必要な物品を準備する



ロビキャップの付いたカテーターを消毒液が入っているケースから取り出します。



清潔なほうの手で鉛筆を握るように持ちます。
カッターを16cm~20cmくらい挿入し
DIBキャップのフタを開けましょう。



尿道口からラセンを描くように亀頭を外側に向かって消毒します。



使用後のカテーターは水道水などでカテーターの内、外、DIBキャップ等を洗い流し、カテーターを消毒液の入ったケースに戻します。



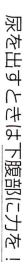
すぐに使えるように用意しておきましょう。



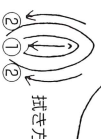
ＤＩＢキャップの付いたカテーテルを消毒液が入っているケースから取り出します。



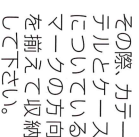
清潔なほうの手で鉛筆を握るように持ちます。
凸点マークを上側にし先端カーブから
カテーテルを4cm~6cmくらい挿入し
DIBキヤットのフタを開けましょう。



中央から下向きに4回消毒します。



使用後のカテーテルは水道水などでカテーテルの内、外、DIBキャップ等を洗い流し、カテーテルを消毒液の入ったケースに戻します。



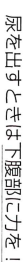
1 必要な物品を準備する



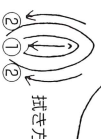
ＤＩＢキャップの付いたカテーテルを消毒液が入っているケースから取り出します。



清潔なほうの手で鉛筆を握るように持ちます。
凸点マークを上側にし先端カーブから
カテーテルを4cm~6cmくらい挿入し
DIBキヤツクのフタを開けましょう。



中央から下向きに4回消毒します。



使用後のカテーテルは水道水などでカテーテルの内、外、DIBキャップ等を洗い流し、カテーテルを消毒液の入ったケースに戻します。

